第34回　複合材料セミナー

新しい生活様式を支える炭素繊維

数ある素材の中で、炭素繊維はその軽くて強い、耐熱性に優れるといった特性に代表される様々な特長を生かし、航空機用途を始め、スポーツ用途・産業用途など着実にその用途を広げてきました。

今年で34回目となる複合材料セミナーでは、炭素繊維メーカーによるPAN系・ピッチ系炭素繊維の最新技術・市場動向に加え、日本の素材産業の将来展望やマテリアル戦略の検討状況、特殊なコンパウンド技術を採用した射出成形用超高強度CFRTP、モビリティ分野の新たな動きである空飛ぶクルマについて取り上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行により、世界中の人々が急速に変化する環境に対して新しい生活様式を日々模索しています。こうした状況を鑑み、今回は初めてウェブセミナー方式にて開催することといたしました。

炭素繊維複合材料の『今』を知ることができる本セミナーへの多数のご参加をお待ちしております。

■ 日時：2021年2月19日（金）　13：00～17：05

■ ウェブセミナー方式で開催　　※アクセス先は開催数日前に別途メールでご連絡します。

講演は録画配信です。ご質問はメールで受け付け、後日、講師または炭素繊維協会が回答します。

■ 参加費　１名につき

一　　般	15,000 円
官公庁・学校関係者	10,000 円
学　　生	2,000 円

■ 申込方法　炭素繊維協会のホームページから参加申込みができます。

http://www.carbonfiber.gr.jp/

■ 支払方法：参加受付後、事務局から請求書を送付します。

振込手数料はご負担ください。

振込後のキャンセルによる返金はできません。

■ 主催：日本化学繊維協会炭素繊維協会委員会

協賛予定（50音順）：(一社) 強化プラスチック協会、(一社)繊維学会、先端材料技術協会、(一財)素形材センター、炭素材料学会、(公社)日本材料学会、(公社)日本セラミックス協会、(一社)日本複合材料学会

■ お問合せ　複合材料セミナー事務局

日本化学繊維協会-炭素繊維協会委員会

TEL 03-3241-2313　　FAX 03-3246-0823

「第 34 回　複合材料セミナープログラム」

2021 年 2 月 19 日（金）

主 催 者 開 会 ご 挨 拶 ----------[13:00～13:05]

1. ＰＡＮ系炭素繊維の現状と将来 ----------[13:05～13:50]

世界情勢の変化に伴い、一時的な需要の落ち込みはあるものの、地球環境問題へ関心の高まりを背景に、今後も炭素繊維はその「軽く」て「強い」という特長を活かし、航空機、自動車、風力発電などの分野での成長、発展への期待は変わらない。
本講演では、主にその市場や用途の観点からＰＡＮ系炭素繊維の現状ならびに将来展望を紹介する。

帝人株式会社
複合成形材料事業本部
本部長
内川 哲茂 氏

2. ピッチ系炭素繊維の現状と将来 ----------[13:50～14:35]

コールタールピッチや石油ピッチを原料とするピッチ系炭素繊維は、結晶構造の違いでメソフェーズピッチ系と等方性ピッチ系に分類され、それぞれの特徴が生かされた分野で使用されている。本講演では、ピッチ系炭素繊維の特徴を解説し、その特徴を生かした現状の用途例と、メソフェーズピッチ系の今後期待される用途展開例を紹介する。

日本グラファイトファイバー
株式会社
技術部 部長
岸本 宏一 氏

休　　憩 ----------[14:35～14:45]

3．素材産業のさらなる競争力強化に向けて ----------[14:45～15:30]

我が国が強みを有する素材産業は、社会に様々な素材を提供し、経済の発展とともに、エネルギーや環境等の社会的課題の解決に貢献する基幹産業である。本講演では、カーボンニュートラル等に向けた日本の素材産業の将来展望やマテリアル戦略の検討状況等を紹介する。

経済産業省製造産業局
素材産業課革新素材室 室長
村上 貴将 氏

4. Advances in High-Strength Injection Molded Composites and Prototyping Methods ----------[15:30～16:15]

In nearly all industries, OEMs are looking for opportunities, now more than ever, to convert parts traditionally manufactured from metals to parts made from composites for many reasons: from reducing weight and improving efficiency, to lowering production costs. Often the strength and versatility of metals prohibit making these changes, as even many composite technologies fall short in performance or cost. The KyronMAX portfolio of carbon fiber reinforced injection molding compounds from Mitsubishi Chemical Advanced Materials (MCAM) exceeds the limitations of other composite materials by utilizing unique processing techniques to achieve the highest mechanical properties of any injection moldable thermoplastic available today. This lecture will cover the KyronMAX technology and practical applications, as well as new prototyping methods from MCAM for rapid production of fully functional composite prototypes.

※本講演は日本語同時通訳で行います。

Mitsubishi Chemical
Advanced Materials Inc,
Key Accounts Manager
Thermoplastic Carbon
Composites
Alex Wojtysiak 氏

5．空飛ぶクルマ"SkyDrive"の開発 ----------[16:15～17:00]

モビリティ分野の新たな動きとして、世界各国で空飛ぶクルマの開発が進んでいる。2020 年 8 月に有人での公開飛行に成功した当社の空飛ぶクルマは、日本初・発の技術の結集で開発を進めてきた。人の移動の「空飛ぶクルマ」、物流用の「カーゴドローン」、空を日常的に活用する 2 つのプロダクトの開発状況やユースケース、新産業創造の課題や取り組みについてお話しする。

株式会社 SkyDrive
代表取締役 CEO
福澤 知浩氏

主 催 者 閉 会 ご 挨 拶 ----------[17:00～17:05]